

1. 学術論文

- 宗像恒次(1991):心の身体に及ぼす影響. Health Sciences7(2):76-79.
- 宗像恒次,石川俊男(1991):医師自身のソーシャルサポート.心身医療 3(6):58-63.
- 中田洋二郎,田頭寿子,リンダ・ベル,中村紀子,中村伸一,笠間いづみ,川並かおる,ディヴィット・ベル,宗像恒次(1991):思春期の子どもを持つ家族の家族機能について一家族の健康度の評価の試み一. 家族療法(家族療法研究)8(1):40-54.
- 宗像恒次(1991):市民のエイズに対する偏見的態度と感染者の生活の質.エイズジャーナル 32):201-212.
- 田島和雄,広瀬加緒瑠,徳留信寛,日山與彦,津金昌一郎,宗像恒次(1991):病院外来患者,および一般住民のエイズに対する認識と対処行動に関する調査報告.エイズジャーナル.3(2):159-175.
- 宗像恒次(1991):エイズへの行動科学的アプローチ.公衆衛生 55(10):685-690.
- 宗像恒次(1991):疾病のグローバル化とストレス-エイズ問題.ストレスと人間科学 6(1)38-42.
- 宗像恒次,中田洋二郎,椎谷淳二,柏木 昭,佐伯洋一郎(1991):暴力性の高いTV番組視聴が子どもと家族に及ぼす影響の5年後追跡調査.研究報告放送文化基金.

2. その他の論文

- 宗像恒次(1991):患者の行動科学-患者のニーズを捉える面接技法.MRM39:13-17.
- 宗像恒次(1991):ポスト工業化社会の医療文化.新医療 193:46-50.
- 宗像恒次(1991):行動科学に基づく新しい保健指導法.看護展望 16(3):97-104.
- 宗像恒次(1991):患者の行動科学-行動変容への支援.MRM40:22-26.
- 宗像恒次(1991):医療行動科学.補綴臨床 24(2):210-211.
- 宗像恒次(1991):いまなぜ体験学習か-月刊ナーシング 11(4):24-27.
- 宗像恒次(1991):患者の行動科学-「自己決定」医療の進め方.MRM42:36-39.
- 宗像恒次(1991):「企業戦士」の過労死とタイプ A 行動.こころの科学 39:48-54.
- 宗像恒次,田島和雄,徳留信寛,日山與彦,田中英夫,津金昌一郎(1991):エイズに関する知識と態度と行動をめぐる国際比較研究.厚生科学研究費エイズ対策研究推進事業 HIV 疫学研究班平成 2 年度報告書,pp.142-155.
- 田島和雄,徳留信寛,日山與彦,津金昌一郎,宗像恒次(1991)1 わが国におけるエイズ予防対策の評価法の確立「エイズへの認識度と対処行動の実態調査:「一般住民」.厚生科学研究費エイズ対策研究推進事業 HIV 疫学研究班平成 2 年度報告書,pp.113-122.
- 長谷川謹也,宗像恒次,森田眞子(1991):異文化接触と不適應に関する研究-心の健康づくりの方法と評価に関する研究(平成 2 年度厚生省科学研究精神保健医療研究報告書),pp.99-164.
- 吾郷晋浩,永田煩史,石川俊男,岡田宏基,町沢理子,近喰ふじ子,辻裕美子,宗像恒次,杉江征,福田由紀,小澤真 (1991):心の健康度測定に関する研究.心の健康づくりの方法と評価に関する研究(平成 2 年度厚生省科学研究精神保健医療研究報告書),pp.1-39.

3. 著書

- 宗像恒次(1991):「エイズに対する偏見と感染者の QOL」(編)日本保健医壕社会学会「都市化・国際化と保健医療の課題」,垣内出版,東京, pp.35-52.
- 宗像恒次,藤縄昭,岡上和雄,他 7 名(1991):「精神障害に関する国民の意識調査」(編)秋元波留夫「21 世紀に向けてのメンタル・ヘルス」,日本精神衛生会,東京,pp.317-331.
- 宗像恒次(1991):「予防的保健行動と病気への対処行動一」(編)岡堂哲雄「健康心理学」,誠信書房,東京,pp.45-64.
- 宗像恒次(1991):「休養・ストレス」(編)郡司篤晃「健康管理論」(新版保健学講座 4 巻),メヂカルフレンド社,東京,pp.98-108.

- ・ 宗像恒次(1991):「心理社会的ストレス」(編)佐藤昭夫,朝長正徳「ストレスの仕組みと積極的対応」,藤田企画出版,青森,pp.201-210.
- ・ 宗像恒次(1991):「ストレス解消学」,小学館,東京,pp.1-287.
- ・ 宗像恒次(1991):「おまかせ」医療から「自己決定」医療へー医療文化の移り変わり」(編)山崎久美子「21 世紀の医療への招待」,誠信書房,東京,pp.219-243.
- ・ 宗像恒次(1991):「人間行動の比較文化的理解」(編)河野友信「医学と医療の行動科学」,朝倉書店,東京,pp.138-146.
- ・ 宗像恒次(1991):「健康と病気をめぐる行動」(編)河野友信「医学と医療の行動科学」,朝倉書店,東京,pp.166-173.
- ・ 宗像恒次(1991):「医療行動科学:新しい医学のパラダイム」(編)長谷川浩,宗像恒次「行動科学と医療」,弘文堂,東京,pp.7-36.
- ・ 宗像恒次(1991):「社会心理モデルからみる健康と病気」(編)長谷川浩,宗像恒次「行動科学と医療」,弘文堂,東京,pp.38-79.
- ・ 宗像恒次,諏訪茂樹(1991):「家庭における精神保健」(編)福祉士養成講座編集委員会「精神保健」(改訂介護福祉士養成講座),中央法規,東京,pp86-124
- ・ 宗像恒次:「ストレスサバイバル解消学」,小学館,6-287,1991.

4.口頭発表

- ・ Munakata,T(1991): National report and data sources for drug and alcohol abuse in Japan. Technical Working Group to Access World Trends in Substance Abuse, World Health Organization, Geneva.
- ・ Munakata, T(1991.3) : International comparison of knowledges, attitudes and behavior regarding AIDS. The 3rd Workshop on Epidemiology and Control of AIDS, Tokyo.
- ・ 宗像恒次(1991.3):産業保健における行動科学の活用.第 64 回日本産業衛生学会,大阪.
- ・ Munakata, T (1991.6):Changing behavior for health promotion. International Symposium on Health Promotion, Taipei.
- ・ 宗像恒次(1991.6):健康教育とマスメディア.第 6 回日本保健医療行動科学学会大会,京都.
- ・ Munakata, T(1991.7): Effective health policy for AIDS prevention in Japan: Suggestion from an international KABP comparison.12th International Symposium of the University of Tokyo, Tokyo — 宗像恒次(1991.11):スポーツ競技者のバーンアウトについて—対人専門職の燃えつき研究から考える—.第 18 回日本スポーツ心理学会,東京.

5.その他

- ・ 宗像恒次(1991):先の読めない拘束状態克服のための健康管理.海外医療 8 44-45.
- ・ 宗像恒次(1991):「イイコ」人間の燃えつき死.社会保健 42(10):17.
- ・ 宗像恒次(1991):ストレス病とタイプ A 行動.社会保健 42(11):17
- ・ 宗像恒次(1991):イイコ症候群.社会保健 42(12):17.